

学校とPTAや地域団体の役割を明確にすることで教職員の負担軽減を！

学校・家庭・地域の役割分担

児童生徒の登下校について、学校の教職員も定期的に見守りを行ってきた。（登校時は勤務時間外）



登下校の安全指導をPTAや地域に任せることにより、教員の負担軽減とともに、学校・家庭・地域が一体となって子供を育てる環境ができた。



活動概要

- ・スクールガード・リーダーだけでなく、町内行政区（町内会）、PTA、ボランティア団体、交通指導員、行政職員等による見守り活動が行われている。
- ・日ごろからのコミュニケーションにより見守り活動者同士の横の連携も自然と構築された。
- ・登校時は児童への付き添いを実施しているが、行政区をまたぐ際に、次の行政区の見守り活動者へバトンタッチするなど、役割分担を明確にし、登下校時の空白地帯の減少や、活動負担の軽減を実現している。

実施までのプロセス

- ①教育委員会事務局と地域支援課との情報交換の実施（通学路の安全確保並びに交通指導員の配置等）
- ②区長会での情報交換会を実施
- ③PTAによる通学班編成の依頼
※学校とPTA・地域団体の役割の明確化
※PTA・地域団体等への理解の促進
- ④活動の定期的な点検並びに見直し
※持続可能な活動へ

家庭・地域への役割分担による効果

- ・教職員の授業準備や生徒指導にかかる時間の確保（週1時間以上）
- ・学校の教育活動への理解促進
- ・登下校時の安心安全の確保